









# 新生活運動は

## 家族会議から

先ず一年中の生活の指針として、家庭の中にも民主的に家族会議の考案を協力によつて、円満に家族会議で事をすすめゆきましよう。そして家族一人残らず満足し合う生活の設計をして、ゆとりのある安定した計画を建てたいものです。これまでの日本の家庭には、とほしかつた家族会議の習慣を身につけるよい時です。

とまれ今年こそ、今年こそはと毎年くり返す決意ながら、それが実行出来なかつた原因はどこにあつたか、その反省も持ちたいものです。それは計画に無理があつたか、実際の努力が足りなかつたか、こゝにも一つ断行の勇氣に欠けていたのではなかつたか。

文化的な生活は、よく考えた計画、最近、東京通信、東京タイムス、新世紀、東京文化新聞、福祉会報、主として高校生を対象に発信され

# 東京通信

## 本町を襲う

不時着の自衛隊機  
地元民の協力に感謝

一月二十日午前十時三十分頃、防府航空自衛隊第一操縦学校所属の練習機三三三三号練習機中、エンジンの故障のため牧の江海岸東方百メートルの地点に不時着、搭乗者(2名)及び機体に異常なく、折からの来潮時に地元民約七十名の手によつて、機体を安全場所へ引揚ることに成功。防府自衛隊より大空航空一佐は現場に急行地元民の協力に對して、「お礼の中上げようもよい」と深く謝意を表明した。

その被害状況は担当本館に外つてある。去る一月二十一日宇部市内の某高校で、その被害状況を調査した所、生体四〇〇名中四名が受けていたことが判明した。この朝の朝陽物は中学生は勿論小学生宛にも降着されているので、本町父兄の方の関心と警戒、ならぬに指導の適正が懸念されている。

特志寄附など

一、六四三件

「扶白合い」の真心に感謝  
旧年末扶白合い運動には町民の協力の成程があげられて、次の通り流れる御厚情は地区民生委員を通じて、それぞれ不器な家庭に配分されました。

阿知須婦人会扱い

一、白米 二斗八合  
一、現金 壹万貳千五百八拾貳円

# 家庭欄



暦の上ではもう一足先に春を迎え、一日一日と暖かく、寒い冬から解放されるのも間近になりました。こうして春を迎えたい子供たちの間には流行が始めます。はしかは昔から子供の病気で必ずはしかは昔から子供の病気で必ず

『伸びゆく阿知須町』  
NHK(防府)から放送  
NHK(防府)から放送  
NHK(防府)から放送

# 料理の講習

## ご研究会

小田静枝女史来講  
このたびは料理の権威者、医学博士小田静枝女史を招き、左記により講習、並に研究発表会を併すことに成りました。

女史は北海道大学、米國アイオワ大学出身で東洋学を専攻、現在農村の食生活改善運動、均衡のとれた自家製料理の研究に努力されておられます。

今回は各部で一カ所だけに限られたのを本町に招き、手近な材料による農家向來料理、上手な準備の配合等の講習であります。

日時 昭和三十一年二月八日  
午前九時三十分から午後三時三十分



# 公民館図書室

ユーモア小説集 源氏鶏太外五氏  
五十人の作家 十波 隆  
忘却のあるさと 菊田 一夫  
煤煙 藤田 草平  
坊ちゃん社会 源氏 鶏太  
愛情会議 久生 十蘭  
人生の阿鼻 木々高太郎  
ヒロボンの女 細川あけみ

創作ノート	三島由起夫	明日は日曜日	源氏 鶏太
次の世界大戦	辻 政信	自分の穴の中で	石川 達三
毒環	大下宇陀児	はやて組	大林 清
奥羽の二人	松本 清張	一〇〇〇人のアメリカ人(上)	西岡 鶴次
通済一代	菅原 通済	親鳥小鳥	佐々木 邦
三つの死	江口 渥	獄中十八年	篠田 球一
霧籠荒木又右衛門	山手樹一郎	サラリーマン読本	志賀 義雄
迎えに来たジーン	三浦 和夫	日本のうたごえ	井上 西智
山(まんじ)	谷崎潤一郎	サラーマン読本	藤原 繁治
細君自由線維術	内川 欣也	赤木 健介	赤木 健介
推し小説集	高木彬光外	羽原 健介	羽原 健介
天下泰平	四代共著	フランシス小説集	即辺貞之助
天下の女傑	源氏 鶏太	夫婦共遊び	渡辺 秀雄
宮本 幹也	源氏 鶏太	三田鏡の恐怖	木々高太郎

とんちクイズ  
タマゴ強りが前に生卵を入れ、落して来ました。最初の客が来て、「隣の卵の殻の分より半個だけ多くれ」といつて買つてゆきました。

第三客の客が来てそれぞれ同じことを言つて買つてゆきました。ここでタマゴ強りは隣の卵の殻を全部卵中に飛ばしてしまいました。

「さて最初の卵は殻の中にくっついてたのでしようか? もちろん三回の取引に卵を半分は割つたようなことは一回もありません、生卵ですから」さて?

申込期日 一月三十日まで  
阿知須町編北  
山本忠男氏宅